

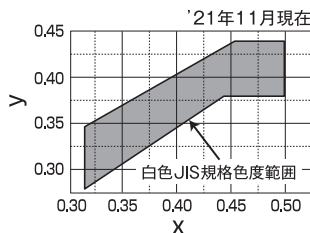
POLARG H8/H11/H16タイプ 取扱説明書

この度は、弊社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの注意書きを必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。またお読みになった後も大切に保管し、必要な時には都度お読みください。誤った取扱いをして事故・故障・破損およびケガをした場合、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

車検対応について

本商品は、保安基準で定める「発光色」、「視認性」の性能評価を満たしておりますが、灯具の種類（反射鏡やレンズの形状）によって、点灯時の明るさ、および色の見え方が変わる場合があります。その為、自動車検査場やお車の種類によっては、車検に通らない場合もあります。

JIS規格D5500に規定されている色度範囲



白色JIS規格色度範囲

$$\begin{aligned} 0.500 &\geq x \geq 0.310 \\ y &\leq 0.150 + 0.640x \\ y &\geq 0.050 + 0.750x \\ 0.440 &\geq y \geq 0.382 \end{aligned}$$

保安基準第32条の項目

●すれ違い用前照灯（ロービーム）

すれ違い用前照灯は、その照射光線が他の交通を妨げないもの、かつ、そのすべてを同時に照射したときに、夜間にその前方40メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。

●走行用前照灯（ハイビーム）

・走行用前照灯の照射光線は、自動車の進行方向を正射するものであること。
・走行用前照灯は、そのすべてを同時に照射したときに、夜間にその前方100メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。

保安基準第33条の項目

●前部霧灯

前部霧灯は、その照射光線が他の交通を妨げないこと。

安全上の注意

- 本取扱説明書の警告・注意事項を守らなかった事が原因で発生した事故や破損につきましては、一切の責任を負いかねます。
- 点灯中や消灯直後に紙や布でおおったり、燃えやすい物に近づけないでください。火災の原因となることがあります。
- ライトに関わる他社商品（後付けオートライトやオートハイビーム等）との併用は行わないでください。故障や車両火災の原因となることがあります。
- 引火する可能性があるところ（ガソリン・シンナーの付近等）で点灯しないでください。爆発や火災の原因となることがあります。
- 交換の際は、本商品のヒートシンク部に灯具やコードが触れていないことを確認して取付けてください。火災の原因となることがあります。
- 分解や改造はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電・発火およびケガの原因となることがあります。



- 幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだり、割ってケガをする原因となることがあります。
- 取付け作業前には、必ず身近な金属に触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。
- バルブ交換時は清潔な手袋、作業用メガネを必ず着用ください。ケガの原因となることがあります。
- ハロゲンバルブを取外す際は、ガラス部と灯具の接触を避けて行なうよう十分注意してください。
- バルブを落としたり、ぶついたり、無理な力を加えたり、傷をつけないでください。破損した場合、部品が飛散しケガの原因となることがあります。
- バルブ交換の際は、ライトのスイッチをOFF後、バッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。
- 点灯中の本商品を間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。



安全上の注意 — つづき —

- ⚠ ●点灯中や消灯直後は、バルブが高温になりますので触らないでください。ヤケドの原因となることがあります。
注 またバルブ交換はバルブの熱を十分に冷ましてから作業を行ってください。
意 ●廃棄の際は、分解しないでください。分解した場合、部品が飛散しケガの原因となることがあります。

使用上の注意

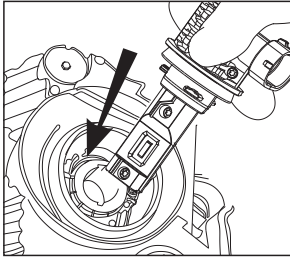
- 交換の際は、水分や油分が付着しないよう十分に気を付けてください。破損や短寿命の原因となることがあります。
 - 本商品は日本国内以外でのご使用はできません。
 - 国産 12V 自家用車専用です。輸入車、商用車(タクシー、トラック含む)、特殊・特装車両には取付けできません。
 - 本商品は自動車の純正 H8/H11/H16 ハロゲンのヘッドランプ(ハイビーム・ロービーム)および、フォグランプの交換用バルブです。また、上記以外のハロゲンバルブおよび、HID バルブとの互換性はありません。
 - 本商品には適合の可 / 不可があります。必ずパッケージ掲載の QR コードで適合条件をご確認ください。
 - 交換の際は、定格(車両電圧)・口金形状・ソケットの向きを確かめて、確実に装着してください。本商品の脱落、過熱の原因となることがあります。
 - バルブの取扱いは、必ずヒートシンク部を持ってください。バルブの破損や発煙の原因となることがありますので、発光部(LED チップ・電子基板)に触れないでください。
 - バックカバーが付いている車両には取付けできない可能性があります。
 - 光軸は走行中のショック・タイヤの空気圧や車体重量の変化によりずれる場合がありますが、故障ではありませんので、適宜光軸調整を行ってください。
 - アイドリングストップ機能を保有している車両やバッテリーが弱っている車両に使用した場合、ロービームとハイビームを切替える際やエンジン始動時に一瞬不点灯やチラツキなどの症状が発生する場合があります。
 - カメラ / ミリ波 / 赤外線 / 超音波などを利用した先進機能は、純正バルブの使用を前提に設計・調整されているため、本商品を装着することにより正常に作動しなくなる恐れがあります。本商品を使用したことによる下記車両装備の作動不良、およびそれにより生じた事故・損害については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 例)アダプティブヘッドランプ、オートマチックハイビーム、衝突被害軽減システム、駐車支援システム、誤発進抑制制御システム、レーダークルーズコントロール、車線逸脱防止支援システム、クリアランスソナー など
- ハイビームアシスト機能が装備されている車種の場合、ライトスイッチを "AUTO" ではなく "ON" の位置でハイビーム・ロービームの点灯確認を行ってください。LEDバルブ特有の症状ではありませんが、ハイビームアシスト機能が作動し自動的にロービームが点灯している際、ハイビーム・ロービームの切替が出来なくなります。
 - 取付け作業終了後、各電装品(ランプ・ワイパー・オーディオ等)が正常に作動するかご確認ください。
 - 灯具の種類(反射鏡やレンズの形状・ソケットの向き)によって、点灯時の明るさおよび色の見え方が変わる場合があります。そのため自動車検査場によっては車検に通らない場合もあります。
 - 車両灯具のレンズ面やリフレクターにキズやくもりがある場合、バルブ本来の性能を発揮できないことがありますので、事前に灯具の状態をご確認ください。
 - 一部の車両では本商品使用時にノイズが発生し、ラジオ等に雑音が入る場合があります。
 - 車両によっては球切れなどを感知するためにスイッチを切った状態でも、車両側が微弱電流を流しており、薄ら点灯してしまう場合がありますが、車両の仕様によるものであり、商品の不具合ではありませんので予めご了承ください。
 - 万一ハイビームインジケータが正常作動しない場合には取付け作業を中止して、ご購入の販売店にご相談ください。
 - 一部の車種では、警告灯の点灯やコンピューターに支障をきたす恐れがありますので販売店等に確認し取付けてください。
 - バルブの交換時は、必ず自動車整備工場または販売店で行ってください。誤った接続は不点灯・誤作動の原因となります。(交換の際は車両の取扱説明書をよく読んで行ってください)
 - 交換後、車両に何らかの不具合が発生した場合は、直ちに本商品の使用を中止して販売店等で点検を受けてください。
 - 交換したハロゲンバルブは大切に保管して、万一使用中に不具合が発生した場合には速やかに使用を中止し、純正バルブに戻してください。

交換方法

1

車両の取扱説明書または、整備解説書を参考にして本商品を取付ける箇所のバルブを取外してください。ショート防止のためバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。

2

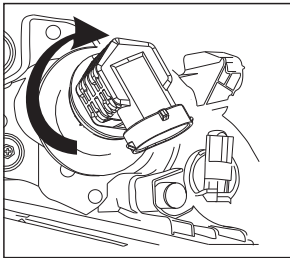


本商品と灯具の切り欠き位置を合わせて奥まで確実に差込んでください。

⚠ 注意

LEDバルブを挿入する際はLED(発光部)に注意して挿入してください。

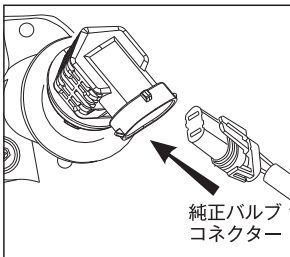
3



本商品を時計回りに回転させ、確実に固定してください。

左右のライトでLEDバルブの装着角度が異なる場合がありますが、明るさや配光に問題はありません。

4



純正バルブコネクタとLEDバルブを接続してください。バッテリーのマイナス端子を接続し、ライトのスイッチをONにして点灯確認をしてください。

プラス・マイナスの極性はありません。

5

①の作業と逆の手順で元に戻してください。

エンジンを始動し、ランプのスイッチをONにしてLEDバルブの点灯を確認してください。

⚠ 注意

光軸の調整を行い、対向車に幻惑を与えないことを確認してからご使用ください。